

オリエンテーション資料

厚生労働省老健局計画課 老人介護専門官 石原 美和

入所者1人ひとりの生活が見える ユニットケア

ユニットケアの考え方と仕組み

2004年9月8日

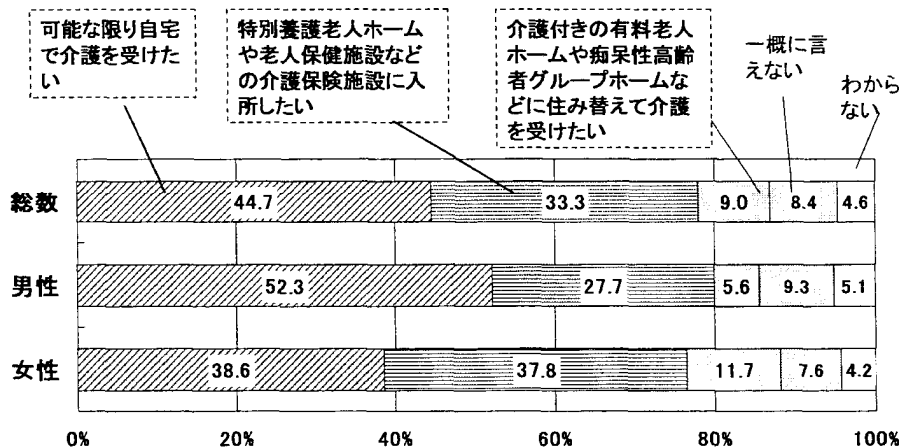
厚生労働省老健局計画課

石原 美和

自宅での介護の意向・1

○ 自分が介護が必要になった場合に、
可能な限り自宅での介護を希望する者は約45%。

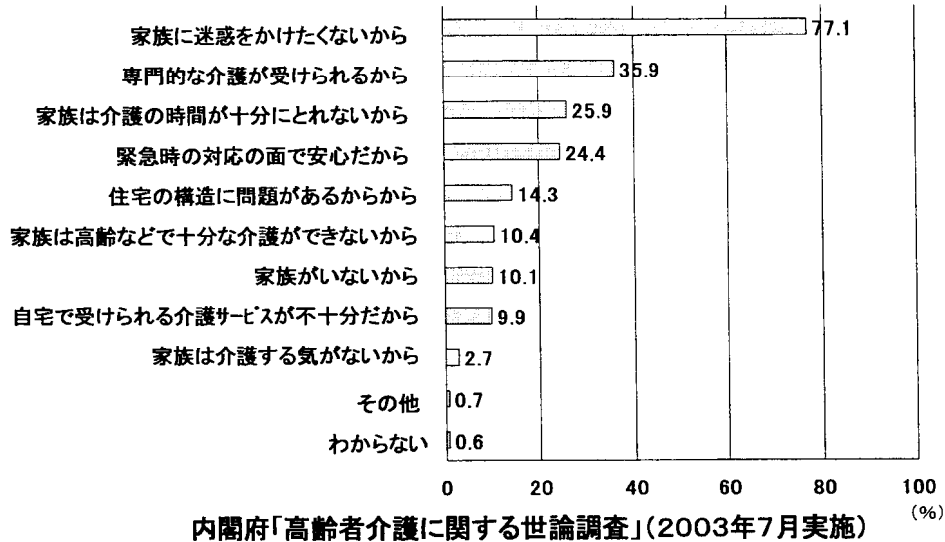
(介護を受けたい場所)



内閣府「高齢者介護に関する世論調査」(2003年7月実施)

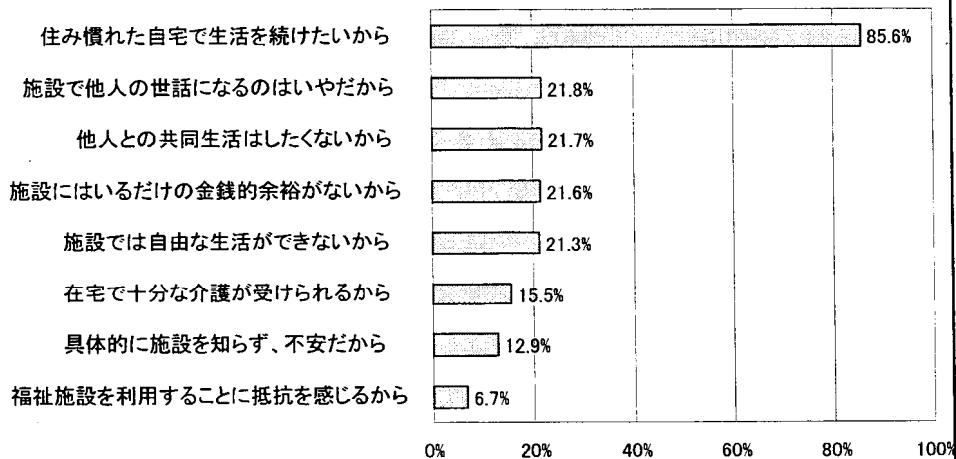
介護施設等を利用したい理由

「介護保険施設に入所したい」、「介護付きの有料老人ホームや痴呆性高齢者グループホームなどに住み替えて介護を受けたい」と答えた者に、複数回答



自宅で介護を受けたい理由

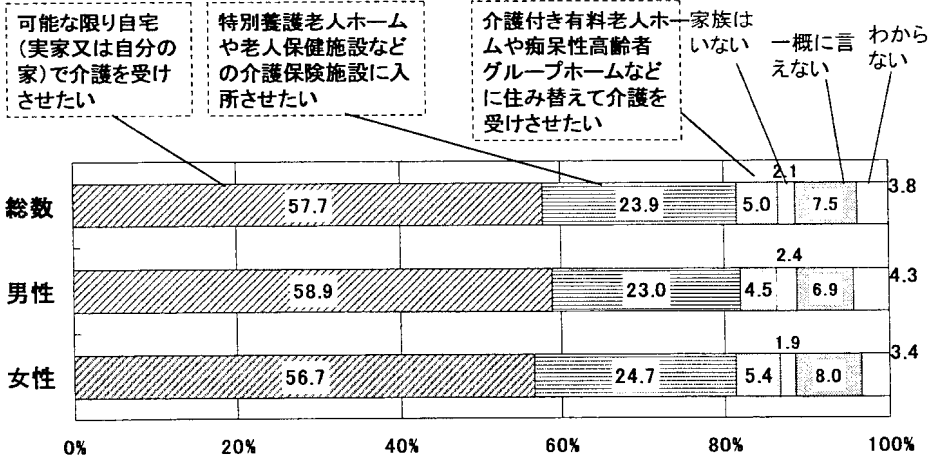
複数回答



自宅での介護の意向・2

○ 家族が介護が必要になった場合に、
可能な限り自宅での介護を希望する者は約6割。

(家族に介護を受けさせたい場所)



内閣府「高齢者介護に関する世論調査」(2003年7月実施)

自分らしい生活を
続けることができるから

キーワードは、生活の継続性

その人らしい暮らしとは

人生の最後まで健やかに、
生き生きと、安心して過ごす
ことができる暮らし

自分の人生を自分で決め、
また、周囲からも個人として
尊重される暮らし



尊厳を保持して生活を送ることができる暮らし

その実現には

高齢者の尊厳を支えるケアの確立が必要

高齢者介護研究会報告書より

(1) 可能な限り

在宅で暮らすことをめざす

→ 小規模・多機能サービス拠点
など

(2) 施設での生活を

限りなく在宅に近いものに

することをめざす

→ ユニットケア

ユニットケアとは……

○ **これまでの施設ケアの
あり方に対する疑問や反省の
中から**

- ・大きな介護単位・生活単位**
- ・日 課**

介護の根本的な転換

○提供側中心→利用者中心

○介護中心→生活中心

○「与える介護」→「支える介護」

○ **現場の実践の積重ねによって**

○ **個別ケアを実現する手法**

ユニットケアは、難しい。

ユニットケアは誰がやるの？

→具体的には？

**施設長のリーダーシップが
ユニットケアの成否を決める**

- 適切なシステム作りと組織マネジメントが施設長には求められる
- ユニットケアはシステムの大改革
 - 個別ケアを推進する仕組み作り
 - 権限の委譲
 - 情報共有システムの構築
 - 良質なケアの提供と健全な経営のバランス

具体的には？

- 施設理念の作成と職員全体での共有
- ユニットへの具体的な権限の委譲(予算やシフト等)
- 直接サービスを重視した職員配置やシフトの工夫
- 会議や記録の改善
- 職員の研修システムの整備
- 職員のメンタルヘルス

特別養護老人ホームの整備

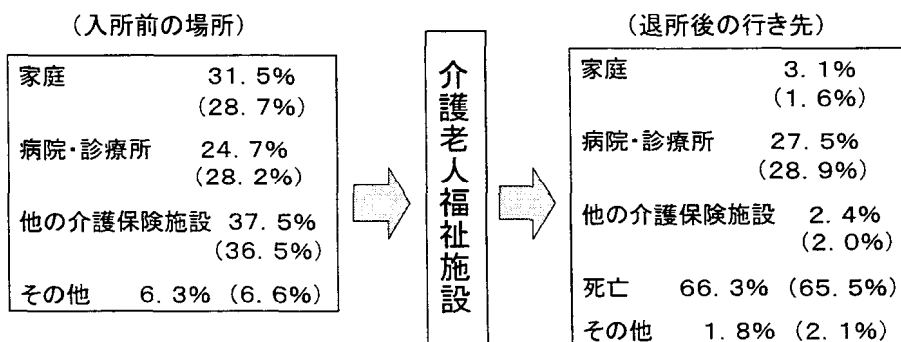
1963年	1カ所	
1970年	539カ所	
1980年	1,031カ所	(養護老人ホーム数を抜く)
1990年	2,260カ所	(ゴールドプラン開始)
2000年	4,463カ所	(定員314,000人)

特別養護老人ホームの新設は、 ユニットケア型が基本

平成14年度	84施設
平成15年度	225施設
平成16年度	208施設

入退所の状況 (介護老人福祉施設)

○ 退所者のうち死亡による退所が全体の約66%



(注) 2002年9月中の入所者と退所者についての調査。

()は2001年9月中の退所者についての調査。

(出典: 介護サービス施設・事業所調査)

要介護（要支援）認定者における痴呆性高齢者の推計

○ 所在と痴呆性老人自立度

(単位:万人)

		要介護 (要支援) 認定者	認定申請時の所在(再掲)				
			居宅	特別養 護老人 ホーム	老人保 健施設	介護療 養型医 療施設	その他 の施設
総 数		314	210	32	25	12	34
再 掲	自立度 Ⅱ以上	149	73	27	20	10	19
	自立度 Ⅲ以上	79 (25)	28 (15)	20 (4)	13 (4)	8 (1)	11 (2)

※ 2002年9月末についての推計。

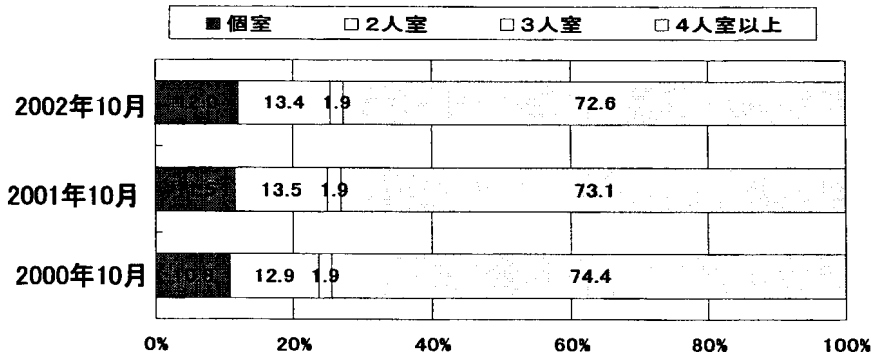
※ 「その他の施設」:医療機関、グループホーム、ケアハウス等

※ カッコ内は、運動能力の低下していない痴呆性高齢者の再掲(痴呆自立度「Ⅲ」、「Ⅳ」又は「M」かつ、障害自立度「自立」、「J」又は「A」)

居室環境の現状 (介護老人福祉施設)

- 特別養護老人ホームの個室は、昭和60年代から増加。
- 2002年10月現在でも、入所者の約7割が4人室を利用。

施設定員別の定員数割合



(注)各施設における定員数は、それぞれの室の定員数に室数を乗じた数。

- ソフトとハードの基準を設置
- 介護報酬を設定
- 入居者の「居住費」に関する
基準改正

個室化の反対の議論

- 現在の高齢者は、個室を望まない。
- 大部屋には、「団欒がある」
- 職員の「動線が長くなり」導入困難
- 重度者には、個室は必要ない。